

マフラー展示

十月十七日（火）より十月三十一日（火）までの期間、夕鶴の里語り部の館を会場にオリジナルマフラー展を開催中です。

二十九年度、染め織講習会受講生の作品三十一点を展示しております。

どの作品も温かみのある優しい印象の素敵なマフラーです。

ぜひ、見にご来館くださいませ。



受講生の皆さん。
4か月間お疲れ様でした！

かいこかみ 蚕神

別名「オシラ神（講）」。

蚕が唯一の現金収入であった農村部では、蚕の出来で生計を左右されるため、蚕の病気や天候を心配しながら人々は生活していた。そこで神の加護を求める心情から生まれたのがこの信仰である。養蚕安全を祈願して、定められた日に講の当番の家に議員が集まり、掛軸を掛け、お神酒、松明をあげ祈願した。

南陽市のうち、吉野、金山、中川などの白鷹山寄りの地区は、江戸時代末頃から養蚕の盛んな所であったことから、蚕神を祀るために蚕を飼う家のほとんどの主婦がこの講に加わっていた。養蚕の仕事は、その家の女衆が行うことから、この講には女性が参加する。

オシラ神は養蚕農家個々にまつる掛軸である。

オシラ神には像や厨子などはなく、ほとんど掛軸に描かれたものである。そして、養蚕の節目節目に祭壇にかけて祀られる。

オシラ様の日は、旧暦十月十六日と、旧暦二月十六日であり、オシラ様の掛け軸をかけ、十六だんごを供えてお参りした。

夕鶴の里特別展
「民間信仰」冊子より一部抜粋



夕鶴の里資料館には、オシラ様に関する絵馬も展示しておりますので、ぜひご覧ください。

◆夕鶴の里駐車場の入口に、公衆電話ボックスが新設されました



是非、ご利用ください

昔のあそび

◆十一月二十五日（土）午前十時より、夕鶴の里「昔のあそび」を開催します。

今回は、「まゆ玉でコサージュを作ろう！」です。

今年の六月に夕鶴の里で飼育した蚕から出来たまゆ玉を使って行います。



参加お待ちしております！